

農繁期 レポート

令和6年 9月号

バードライフファーム

オーナー バードライフ
産地 鳥取県日野郡日南町
水田面積 22.5アール
保証量 玄米1,013kg
形態品種 特別栽培コシヒカリ



生産者 ノータス研究所株式会社

実りの秋になり、稲刈りシーズンに突入いたしました。今年には猛暑に見舞われ、水管理が大変な年でしたが、無事に刈り取りの時機を迎える事ができました。全国的にお米の不足が騒がれておりますが、ノータス研究所では、早刈りをせず、稲穂の熟成を見ながら順次刈り取りを進めております。より美味しいお米をオーナーの皆様にお届けできるよう、心を込めて取り組んでおりますので、新米を楽しみにもうしばらくお待ち下さい。今後ともよろしく願い申し上げます。

9月の作業内容

1. 稲刈り

刈取適期は出穂後の積算温度だけでなく穂の色など状態をみて判断します。適期は非常に短く、その期間に雨が降るとコンバインが田んぼに入れず適期を逃すこともあります。そのため翌日が雨予報だと日没後もライトを照らして作業する農家さんもいます。



2. 脱穀後の籾

昔の手刈りとは違い現代はコンバインで刈り取り～脱穀を行います。コンバインの容量がいっぱいになったら横づけした軽トラックに「籾」を一気に流し込み、すぐに乾燥機へ投入します。ここまでが一連の作業なので刈取後に放置は基本しなないです。



3. 乾燥

収穫直後のお米は水分量が多いので乾燥機に入れ調整します。この工程で品質は良くも悪くもなり、稲刈りよりも気を使う作業です。急激に乾燥させると粒が割れてしまったりするのですが、現在の乾燥機は改良もされているためある程度機械任せで良い状態に仕上がります。



4. 等級検査

乾燥後にもみすり機に入れ、もみ殻を取り除き製品となる「玄米」に仕上げます。不良米や小石は色選機で除き、30kg袋に詰め込みしてから検査を受けます。また、もみ殻も堆肥作りにとでも大切な物として重要な副産物ですので捨てることはしません。

